



斑点米カメムシ類の対策について

- ・カメムシ(図1)は出穂後に水田に侵入し、籾に口針を刺し吸汁します。その籾は部分着色米(図2)となり、品質を低下につな갑니다。
- ・定期的な水田内の除草や周辺の草刈りを行い、カメムシが生育しにくい環境をつくり、発生を防ぎましょう。

図1
「アカスジカスミカメ」
(カメムシの一種)



図2 部分着色米



引用：農林水産省HP「国内農産物の被害粒等の限界基準解説書」

オススメ農薬！！

スタークル豆つぶ

使用量：250g／10a

使用時期：収穫7日前まで(出穂後7～10日後)

本剤の使用回数：3回以内

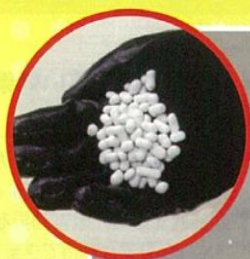
ひしゃくでの散布が可能です。

※カメムシ類での登録内容となります。

詳しくは、本剤裏側をご確認ください。



斑点米カメムシ防除に



散布直後



約30秒後

豆つぶは自分で
拡がるから

らくらく散布の



クミアイ

スタークル[®] 豆つぶ[®]

農林水産省登録
第22333号

スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標、豆つぶ[®]はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

田んぼに入らなくてもいいんです。
出穂7~10日後が散布適期です。



注意事項

本剤は根から吸われて効果を発現しますので、湛水状態(水深3~5cm)で散布し、湛水状態を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しをしないでください。